

高知市市民活動サポートセンター季刊誌

えぬひい! Oh!

2020 春
Vol. 74

▶ 2P

音楽で地域をもりあげる NPO 法人オフィスティーパンズ
～えびすで歌声広場&ゆく年くる年大騒ぎ [祭りサミット]～

▶ 3P

はじめてみませんか、地域猫活動
～人も猫も住みやすい街へ～

▶ 4～5P

高知の日曜市をみて・買って・つくって・食べる！
～土佐志民大学「日曜市定食を料る！」体験レポート～

▶ 6～7P

公益財団法人JK Aの補助金
～半径1mから社会は変えられる～

音楽で地域をもりあげる NPO 法人オフィスティーバンズ

～えびすで歌声広場&ゆく年くる年大騒ぎ [祭りサミット]～

香美市土佐山田町を中心に音楽で地域をもりあげているNPOがある。バンドの名前はT-I-B-A-N-D-S。ステージイベントには欠かせない存在である。オフィスティーバンズの理事でドラム担当の利根健二さんにお話を伺った。

■ T-I-B-A-N-D-Sの結成

高知工科大学の一期生が卒業する際、音楽で祝福し送り出そうと、当時の商工会商業部の理事を中心に結成。初期メンバーは6人で、本屋、お菓子屋、陶器屋、酒屋など職業も年齢も異なる異質な組み合わせでスタートした。現在は3人が入れ替わり、平均年齢66歳で活動している。

主に、グループサウンズを中心にカントリーミュージック、オールディーズソングを演奏している。懐かしい昭和の曲もあれば英語の曲もあり、バラードからポップスまで幅広い年代の人が楽しめる。毎回、ステージでラストに演奏する「マイホームタウンとさやまだ」は、自分達が青春時代の山田の風景を歌詞にして作ったオリジナルソングである。

■ えびすで歌声広場

バンド活動以外では、地域に根付いたイベントを毎月一回開催している。えびすで歌声広場は2016年7月から今年の1月で43回目を迎えた。

きっかけは、歌声広場やディスコなど昭和の懐かしい思い出を再現したくて、地元で活躍している男性コーラスグループ「コキーズ」の代表・三谷誠郎さん（みたにせいろう）に相談したところ、ボランティアで共催してくれることになった。入場時に歌詞カードが配られオルガンの伴奏に合わせてみんなで歌う。途中おやつタイムを入れることでお客様同士の親睦も深まり大変喜んでくれていると思う。

■ ゆく年くる年大騒ぎ「祭りサミット」

毎年12月下旬にゆく年くる年大騒ぎ「祭りサミット」と題した大忘年会を開催している。昨年は150人以上が参加して、食べて、飲んで、踊って交流を深めた。特に、T-I-B-A-N-D-Sの演奏時はたくさんの方が前に来て踊ってくれるので演奏のしがいがある。



▲歌って脳トレでは歌と手が付いていけず（泣）



▲男性コーラスグループ「コキーズ」さん（現在平均年齢80歳）

■ 感想

実際に両方のイベントに参加して楽しかったのはもちろんですが、主催者も参加者も楽しんでやっているからこそ、どちらも継続できているんだなあと感じました。「バンドもNPOも自ら楽しみ、皆に楽しんでいただくことを、いつまでも続けていきたい。」とおっしゃっていたのが印象に残りました。

（つづ）



▲老若男女が踊る！踊る！踊る！



▲T-BANDS(中央奥)ドラム 利根健二さん

えびすで歌声広場 (お問合せ先)

場所：ふらっと中町(香美市土佐山田町西本町1丁目6-19)

電話：0887-52-9325 営業時間 9：30～18：00 (定休日：水曜)



はじめてみませんか、地域猫活動 ～人も猫も住みやすい街へ～

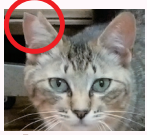
黒猫が玄関先をのそり、三毛猫がごみ収集所を散らかす。駐車場の砂利にふん尿。車のボンネットに足跡やひっかき傷を残され、あくあ、またやられた！猫が悪い訳じゃないけど、人も猫も暮らしやすいかならないかと思う。

そんな時、猫を通して安心して暮らせる街づくりに取り組んでいる高知地域猫の会代表の澤田佳子さんにお話を伺った。

■地域猫活動と「TNR」

地域猫活動は、猫を起因とするさまざまなトラブルを地域の環境問題として捉え、行政やボランティアの協力を得ながら地域住民が主体となり、「野良猫の不妊・去勢手術（TNR）」「猫トイレの設置」「清掃・エサやりのルール作りと管理」などを行い、トラブルを解決していく活動です。人と猫との共生だけでなく、活動を通して地域コミュニティの活性化などの効果が期待出来ます。

「TNR」はトラップ・ニューター・リターンの英語の頭文字をとった略語です。トラップは野良猫を捕獲すること、ニューターは不妊手術すること、そしてリターンは元に戻すこと。手術後の印として「耳カット」を施すことで、再度捕獲されることを防ぎ、住民も手術済の猫だと見分けがつきやすく、安心感を与えることが出来ます。



▲「耳カット」された猫

しかし、「TNR」を行い地域に猫を戻し

ても、周りに迷惑を掛けるようなエサやりや、ふん尿被害などの対策を行わなければ、地域住民の苦情や不満はなくなりません。猫の被害にあった人は、とにかくすぐにでも野良猫を何とかしてくれと思っているからです。地域猫活動はTNRだけでなく、こういったトラブルの解決を行っていきます。

活動の効果はすぐに表れませんが、TNRを続けることで子猫が産まれなくなり、自然に猫の数が減ってきます。（野良猫の寿命はだいたい五〜六年といわれている。）そのためには、よそから新しい猫が入ってこないよう、エサやりの管理、猫の頭数管理をしっかり行い、耳カットしていない猫がいなか地域全体で見守り続けることが重要です。エサやりしている個人を責めても、問題の解決にはなりません。

■猫を増やさないことが大切なことは？

住民が一生懸命地域猫活動を行っても、不妊・去勢手術をしていない放し飼いの飼い猫がいれば、猫はなかなか減りません。また、問題行動を起すのは野良猫だけではなく、そうした飼い猫も含まれます。飼い猫は飼い主が不妊・去勢手術を受けさせ、出来るだけ室内飼養し、ご近所に迷惑を掛けないことが飼い主の責任だと考えます。

■地域猫活動の主体は？

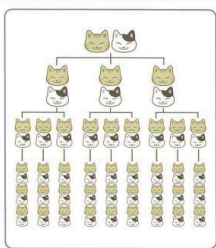
地域猫活動の主体はあくまでも地域住民。行政とボランティアの協力を得ながら、三者協働で進

めていきます。エサやりさんを排除するのではなく味方につけ、猫のいる場所を聞き、手術の捕獲を一緒に行い、車を出せる人が動物病院への搬送を担当し、パソコンの得意な人が広報チラシを作製したりと、一人一人が出来ることを出来る範囲で続けていけば、猫の問題も解決し、住民同士のコミュニケーションも活発化していきます。

■地域猫活動は街づくり

地域猫活動の発案者である黒澤 泰氏（元横浜市保健所職員）によれば、町内には、猫好き二割、嫌い二割、無関心六割の住民が多いそうです。町の問題として住民が主体的に取り組み、猫好きと猫嫌いが歩み寄り、関心のなかった人が関心を寄せ、猫を通して今まで話したことのない人が繋がり、対話を通じて住み心地のよい街になっていく。はじめてみませんか、地域猫活動！

（のむ）



▲猫の繁殖の様子。猫は繁殖力が強く、年間三回程出産し、一回に四〜八匹の子猫を産む。



▲町内会会合での「地域猫」についての説明会の様子。

【問合せ先】高知地域猫の会：e-mail:chikineko.kochi@gmail.com

高知の日曜市をみて・買って・つくって・食べる！

土佐志民大学「日曜日定食を料る！」体験レポート



▲ 珍しい物がこじゃんとある街路市

日曜市とは
日曜市は高知のお城の下に1キロにわたって400店が並ぶ、300年以上続く、街路市。近隣の生産農家や手作りのお店が立ち並びます。高知市のど真ん中に、毎週1万7000人が訪れつづけているそうです。

令和2年1月26日(日曜日)に開催された「日曜日定食を料る！」(フィールドワーク&調理)をレポートしました。
こちらは実際に高知が誇る日曜市をみんな歩いて、そこで売られているものを見て、買って、メニューを決めて、一緒に料理をし、お昼ごはんを食べる、ということとても楽しい企画です。

社会を変える市民の学び舎「土佐志民大学」
3時限目の開催にあたり、運営委員の池澤良子さんに寄稿していただきました。



▲ 味見もさせてくれました

魅力再発見
こんな盛り上がるイベントをつくらうとしてもつけない高知の貴重なコンテンツ・文化だとも思います。
久しぶりに日曜市を訪れて、その品物のすばらしさ、豊富さ、安さに驚きました！特に農家の方がその日の朝や前日に収穫した農産物の新鮮さ、元気にびっぴり！！
お花もとても豊富で、花好きの私にはうれしい再発見でした。
そして日曜市の魅力は「人」でもあるなあ、と実感。出店者の方と「やりとり」があります。久しぶりに聞く土佐弁もたくさん行き交っていました。日曜市によくいく人はファンのお店があつて、そのお店の人に会いに行くのが楽しみ、と聞いたこともあります。お店の人を通じてその方が生産している土地にも興味が湧きます。



▲ 新鮮な野菜や果物など見るだけでも楽しい



▲ 参加費 500 円 × 9 人 = 4,500 円で購入した食材



いざ買い出しへ
当日集まった参加者は9人。材料費一人500円ずつ出し合つて、まずは一通り市を歩き、それぞれが作りたいメニューを出し合いました。買い物をして、青少年センターへ移動。調理開始です。みなさん、手際がよくて、楽しく調理していました。

■本日のメニュー

ーサラダ

新鮮でパワフルな野菜たち。トマトやブロッコリー・カリフラワー・葉っぱたち。ドレッシングはオレンジレモン（マイヤーレモン）。レモンの酸味とオレンジの甘みを持ち合わせたフルーツなんだそうです。

日曜日には希少な野菜やフルーツもたくさんありました。高知がいかに彩りにあふれた土地なのも感じます。真冬にふんだんにあるかんきつ類の黄色は、季節の先取り、南国の春を実感しました。

ー赤海老・ズッキーニ・玉ねぎのかきあげ、ふきのとうのてんぷら

さくさくの歯触りに、野菜のおいしさが凝縮されたお味でした。



▲今が旬! ふきのとうの天ぷら

ー大豊の手づくり豆腐・おあげ・池川のこんにやく・水菜・はくさいのお鍋

お出汁は参加者の方がつけてきてくださった土佐清水の宗田節ブロス。直七・ブシュカン・ゆず

などの酢みかんが高知を感じさせます。

ー赤岡名物の中日麺のイタリアンパスタ

中華そばの麺をうどんのお出汁でいただく中日麺。この麺を、葉ニンニク、ズッキーニ、赤人参、弘岡かぶの漬け物、メヒカリ、そしてさわやかな風味の土佐文旦果汁。

アンチョビパスタは南イタリア風ですが、土佐沖でとれたメヒカリをあわせるとはまさに南国土佐風パスタでした。

ー土佐文旦のデザート

色あざやかな黄色とお花のもりつけが美しく元気ができました。この季節は高知では文旦は外せません。できあがった料理をみてその品数と彩りにびっくりしました。私では到底考えもつかなかった、聞いたこともないような独創的なお料理たち。材料をみてメニューを決める面白さがあります。



▲インスタ映える料理が完成

■感想

人数が集まれば、ひとりのお金は少なくても、こんなにもたくさんのお料理をつくることができるんだ、と実感しました。

日曜日は季節ごとに売られているものがまったく違います。また違った季節ではどんな料理ができるのかとっても楽しみです。

ご一緒したみなさんの独創的な創造性のすばらしさ、高知の土地の豊かさ、生産者のみなさんへの敬意と感謝を感じた1日でした。

(池澤良子)



▲みんなで実食!! 美味しい〜♪ (左から2番目: 池澤良子さん)



公益財団法人 J K A の補助金

～半径 1 m から社会は変えられる～

■ N P O 活動を支える助成金・補助金

N P O は、自己資金が少ないため、近年ではファンディング等を行い活動資金を調達している団体もあるが、多くの団体は助成団体からの補助金を原資として活動に活用している。

これを読んでいる方々も、一度や二度はこうした補助金等活用を経験があると思う。

助成団体数は、公益法人助成財団センターのホームページで調べると、五十音順に並べられたタブの「あ」だけでも86の団体が並んでいる。中でも、国内最大規模の公益財団の日本財団は、公営競技のひとつ競艇（ボートレース）の収益金をもとに、海洋船舶関連事業の支援や公益・福祉事業、国際協力事業を主に行なっている。

一方、公益財団法人 J K A（以下「J K A」）は、同じ公営競技である競輪・オートレースの売上金の一部をもとに、社会的課題の解決に取り組む活動を支援している。

■ J K A 補助金

今回私が本法人の助成事業を紹介しようとしたのは、現在の自分の本業が競輪事業であるということもあるが、地元高知で開催される競輪事業から多額の交付金（2018年度の J K A 2号交付金は1億1千7百万円）を納付しているにも関わらず、高知での本助成事業の活用が少ない（同年度の J K A 補助金助成0円）ことを残念に思ったからだ。

私が調べた限り、高知県内で活用された J K A 補助事業は、2016年の「更生保護施設の建築」「福祉車両の購入」「J K A 助成事業により建設された障がい者福祉施設の補修」以降見当たらない。

公益の増進と社会福祉の増進分野の 2019 年度の補助項目

自転車 (競技力向上等)	自転車・ モーターサイクル	スポーツ・ パラスポーツ	新世紀未来創造プロジェクト	
社会環境	国際交流	児童	高齢者	障がい者
医療・公衆衛生	文教・社会環境	地域共生型 社会支援事業	幸せに暮らせる社会を作るための活動や 車両・機器等の整備	
非常災害の援護	復興支援事業	研究補助	緊急的な対応を必要とする事業への支援	

J K A 補助金は、法の目的に合致した「自転車や小型自動車その他の機械の改良及び輸出入の振興、機械工業の合理化並びに体育事業その他の公益の増進を目的とする事業の振興に寄与する」ものを対象としている。所管官庁は経済産業省となる。

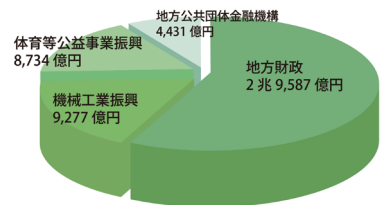
■ N P O 等が活用できると思われる事業項目

J K A 補助金は、**機械工業の振興と公益の増進と社会福祉の増進**があり、補助項目は上のようになっている。
※詳細は次ページを参照ください。

自分たちの N P O 活動に活用できる項目はあるだろうか。

J K A 補助金は、他の補助金等と比べてややこしいと難しいという声を聴くこともあるが、だからこそ目的に合致すれば採用される確率は高くなると考える。

競輪収益金の使途
(昭和 23 年度 (1948 年度) から平成 30 年度 (2018 年度) までの累計)



■ 応募してみよう

どうすれば採用されやすくなるかだが、助成財団が主催するセミナーや報告会、助成プログラムの合同説明会、助成財団関係者が参加しそうなイベント、助成金を受けた団体主催のシンポジウムや報告会に参加したり、申請相談に行ったりする。助成財団によっては、助成金の申請相談を受け付けているところもあるので、実際に申請相談を兼ねて会いに行ってみると良いと言われている。

まさに、「虎穴に入らずんば虎子を得ず」で、相手の懐に入り傾向と対策を学び申請に備えよということだが、N P O 高知市民会議でも、ケリン福祉財団やトヨタ財団等が高知まで来て説明会を開催することもある。残念ながら、J K A の説明会は、東京や大阪の大都市でしか開催されていないが、ホームページでも事業報告が公開されているので、ぜひチャレンジしてもらいたい。

J K A は N P O 団体等からの補助申請というラブレターを待っている。

(森岡)



■NPO等が活用できると思われる事業項目

以下は、文字数省略のため複数の項目をまとめたため、正式な項目や詳細はホームページを参照していただきたい。

I 公益の増進

東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた自転車競技の競技力向上等も含まれるが、特にNPO等が活用できると思われる公益増進事業項目を抜粋。

- (1) 自転車・モーターサイクルを通じた安全利用等、人にやさしい健康で安全な社会づくり、交通マナーの啓発やこれらのマナー対策のための施設建築、自転車・モーターサイクルの活用による地域振興、自転車・モーターサイクルの交通マナー対策に資する施設の建築及び同施設の補修
- (2) スポーツ・パラスポーツ競技力の向上や同スポーツの推進に取組む事業、全国的なスポーツ・パラスポーツ大会開催、国際相互理解の増進に資する事業、同スポーツ振興やスポーツ界における諸問題の解決に資する調査研究及びセミナー、地域の相互連携及び地域間の交流等に資する事業等
- (3) 警察・消防活動に協力中の事故被害者に対する支援活動、地域社会の安全・安心に資する活動、更生保護施設の建築、競輪・オートレースの補助事業により建築整備された更生保護施設の補修事業
- (4) 学術・芸術・文化などにおける国際交流の推進及び国際的な舞台で活躍できる人材の育成に資する事業
- (5) 健康・医療に関する普及啓発事業、病気の早期発見及び予防に資する検診車整備事業
- (6) 伝統芸能・音楽・映画など学術・文化の振興、これらの振興を通して青少年の健全育成に資する事業、消費者の安全・安心な社会づくり、親と子のふれあい交流活動、地域に根ざした自然・文化・遊び体験活動、学術・文化の振興のための活動、青少年の健やかな成長を育む活動、豊かな自然と動植物を大切にしている活動、消費者にとって「安全・安心」な社会をつくる活動
- (7) 新世紀未来創造プロジェクト
地域ふれあい交流活動（学校、クラス、クラブの生徒が中心となって、その地域住民などと交流し相互に理解を深めるために取組む活動）、実践的研究を通じた人間力育成支援活動（学校、クラス、クラブの生徒が創造力、観察力、行動力を高めるため、独自の視点で新たな教育的価値、チャレンジ精神を創出する実践的・先駆的な研究に取組む活動）
- (8) 社会福祉活動（子どもが参加・体験等を通じ、地域共生型社会の実現を目指す力を身につける社会福祉活動）

II 社会福祉の増進

福祉課題を地域で取り込んでいく活動や、医療、介護など様々な分野が連携できる取組み、児童・高齢者・障害者を地域の中で結びつけ共生できる社会を目指す活動を支援するもの。

- (1) 子どもが幸せに暮らせる社会を創る活動、虐待から子どもを守る施設の建築、児童福祉施設の建築
- (2) お年寄りが幸せに暮らせる社会を創る活動
- (3) 障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動、障害者の地域活動のための施設の建築、障害者のための施設の建築、障害のある青少年の健全育成のための施設（私立特別支援学校）の建築、身体障害者補助犬（以下「補助犬」という。）を広める活動、補助犬の繁殖・訓練・ケア施設の建築
- (4) 児童、高齢者、障害者が相補的に関わることでできる地域共生型社会づくりを促進する活動
- (5) 福祉車両の整備、福祉機器の整備、幸せに暮らせる福祉社会を創る活動、難病及び希少難病をかかえる人への支援並びに難病及び希少難病について正しい理解を深める活動、引きこもり・不登校に対する支援活動、子どもなどの弱者を、いじめ、暴力、事故、犯罪から守るための活動、福祉事業を行っている法人格を有さない団体に対して支援を行うことを本来事業の目的とする活動、競輪・オートレースの補助事業により建築整備された社会福祉施設の補修事業

※競輪とオートレースの補助事業 <https://hojo.keirin-autorace.or.jp/>

クイズ! ひなまつり!

ひな人形で見られる持ち物で、三人官女が持っていないものはな〜んだ?

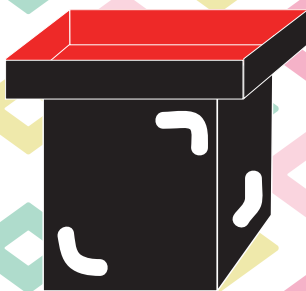
1, 長柄銚子ながえのちょうし



2, 笛ふえ



3, 三宝さんぼう



4, 銚子ちょうし



答えは高知市市民活動サポートセンターのホームページに掲載中。

URL : <http://www.kochi-saposen.net/>

#編集スタッフの

つぶやき

発行 高知市市民活動サポートセンター
認定特定非営利活動法人
企画編集 NPO高知市民会議 広報部会

〒780-0862 高知市鷹座町2丁目1-43 高知市たかじょう庁舎2階
月~金/10:00~21:00 土/10:00~18:00(日・祝日は休み)

TEL : 088-820-1540 FAX : 088-820-1665

E-Mail : info@siminkaigi.org

WEB : <http://www.kochi-saposen.net/>

この冊子は再生紙を使用しています



@有光

卒論の提出も終わり、ここ最近では生活リズムに乱れが……。4月からの社会人生活のためにも、まずは「早寝早起き朝ごはん」から。



@杉本

1月に成人式がありました。振袖で会う友人たちは煌びやかで緊張しましたが、中身は私と同様にあまり変わっていないみたいで安心しました 😊



@おおの

久しぶりに眼鏡を新調。見え方が変わると世界が変わる!!
ただし、部屋の汚れまでよく見える。笑



@横田

花粉症の季節ですね。昨夏よりついに免疫療法を始めたので一年中軽い花粉症の症状が出ています。早く効き目があらわれますように…



@しのみや

国内を行脚する中、いつも思うのは高知空港に降り立った時に感じる風の柔らかさ。やはりふるさと土佐はいい!